



福島空港 公園づくり

Fukushima Airport

平成27年10月1日発行

／福島空港公園運営検討委員会事務局

かわらばん

第8号

冒険遊び場の「ワークショップ」と 「手作り冒険遊び場」を開催

福島空港事務所では、多様なニーズに応じて魅力的な公園づくりを推進するため、地域住民やNPOの皆さんとともに「参画と協働による公園づくり」の取り組みを行っております。

今回、学校へのアンケートで希望が多かった「子供と一緒に遊ぶ」取り組みとして、手づくりの遊具で子供たちの「やってみたい」を応援する「冒険遊び場」（プレーパーク）を紹介するため、「NPO法人プレーパークせたがや」にご協力いただき、「手作り冒険遊び場」を実施しました。

ワークショップ

9月6日（日）に緑のスポーツエリアにある21世紀建設館で「ワークショップ」を開催し、冒険遊び場づくりのアイデアを話し合ってもらいました。

はじめに、朝霞の森運営委員会委員の宮川さんから、埼玉県朝霞市「朝霞の森」の市民参加型の広場づくりの取り組みに関する事例発表がありました。

次に、「NPO法人プレーパークせたがや」の吉田さんからNPO法人プレーパークせたがやの取り組みについて発表がありました。

その後、同じく「NPO法人プレーパークせたがや」の大垣内さんの進行で、参加の方に子供のころの楽しかった思い出を絵日記形式で書いて頂き、発表を行い「冒険遊び場」の「やってみたい！」のイメージを膨らませました。

最後に9月23日（水・祝）に開催する「手作り冒険遊び場」に向けて、具体的な内容について、外に出て作戦会議をしました。



手作り冒険遊び場

9月23日（水・祝）に緑のスポーツエリアの21世紀建設館前の広場で「手作り冒険遊び場」を開催しました。

林の中に「ツリーハウス」や「モンキーロープ」、「ブランコ」を造り、広場の中央には竹材で組んだ「ティピ」を設置し、その周りで「木材工作」や「和紙の色染」、そして「NPO法人福島県もりの案内人の会」の阿部さんにご協力いただき「木の実を使った工作」を実施しました。

当日は、シルバーウィークの最終日でしたが、天候にも恵まれ、たくさんの方が訪れました。

子供たちが、お父さんやお母さんと一緒にツリーハウスに上ったり、モンキーロープやブランコで遊び、あるいはノコギリやカナヅチで机を作ったり、和紙の色染めや木の実を使った工作に挑戦するなど、思い思いに楽しんでいました。

また「NPO法人プレーパークせたがや」の吉田さんの指導のもと、ロープとボールを使ったゲーム「ろくむし」では、子供たちが歓声を上げて走り、終日賑わいました。



●事務局だより

今回の「冒険遊び場」のイベントは、公園を地域交流のツールとして活用する事を啓発するため、子供たちの遊びを通し子供を持つご家族が交流するものでした。

イベントに参加された方からは、「冒険遊び場」を知っていた方も知らなかった方も、イベントに肯定的な意見が多く出されました。

現在取り組んでいる「協働と参画の公園づくり」とは、地域住民やNPO団体等が公園の利活用を容易にする仕組みづくりです。

今回のイベントで自分たちも公園で何か活動をしたいと思っただけであれば、それを支援しますので、ご相談ください。（小さな取り組みでもOKです）

また公園の未利用地を使ったイベントを11月に開催する予定ですので、奮ってご参加ください。

詳しくは、本ホームページや以下のfacebookやツイッターでお知らせします。

最後に、本イベントにご協力いただいた「NPO法人プレーパークせたがや」の大垣内さん、吉田さん、朝霞の森運営委員会委員の宮川さん、「福島県もりの案内人の会」の阿部さん、そして公益財団法人福島県都市公園・緑化協会 福島空港公園事務所の皆さんにお礼申し上げます。

Twitter



Facebook

